

# 「ローリスク起業」のススメ

ファイナンシャルプランナー(FP) 氏家祥美さん

結婚退職、そして二児の出産。7年間の主婦生活からファイナンシャルプランナー(FP)へ。資格を取り、グループ起業後に独立した氏家祥美さんがすすめる現代起業のコツは「ローリスク」と「家族を上手に巻き込む」こと。主婦起業のヒントをもらいました。

## 家計の勉強にもなるFPの資格を取得

大卒で就職した旅行会社に2年勤め、結婚退職。1年後に長男を授かり、埼玉県から大田区へ引っ越し。長男が幼稚園の年中の時に次男を出産した氏家さん。「二人目は余裕もあり、ビデオ通信講座でFPの資格を取りました」。家のローンや、長男の幼稚園代が毎月の負担となり、お金への関心が高まったのもきっかけとか。FPの講座は家計の知識を学べ、自分のためにもなると考えて

の受講。資格を取得します。

その後ネットで「女性FP」と検索してFPサークルを発見。仲間に入れてもらい、2年間勉強会に参加します。「代表がFPの株式会社を作るというので手を上げました。4人で、百万円ずつ持ち寄って。私の百万はへそくりです(笑)」。こうして2005年にグループ起業。夫は「家事をやるなら好きにすれば」と黙認。

会社のメンバーとネット株の本などの執筆に加わった氏家さんにも徐々に材や執筆の依頼が。会社の仕事をしながらキャリアアカウンセラーの資格も取得。FPでキャリアに詳しい人が多くなかったため「お金の面から働く女性を支援する」のが得意分野に。仕事は軌道に乗って忙しくなり、土日や夜の相談も増えます。気持ちが外へ外へと向いていた時、小学校に上がったばかりの次男の異変に気づいたそうです。

「なんだかきびしそうなんですね。今思えば、私にとっては第二子で、上の子と同じ男の子で、同じ小学校に行くだけだったんですが、次男にとっては『初めての学校』だったんですね。それなのに、手間も気持ちもかけてこなかった自分を深く反省しました」。悩んだ末、氏家さんは会社を辞めることを決意。「いま一番大事なのは子どもだと思っただんです。それなら一度ここでキャリアアダウンしよう」と。そして一人で個人事業主として再スタートすることに。

## 事業も家族もゆつくり育てよう

当初、渋谷に安いシェアオフィスを借りていましたが、子育て中の女性からの相談が増え、夜や土日に使えるオフィスが必要に。そこで今は、自宅のある大田区にFPの友人と2人で小さなオフィスを借りています。

一旦家庭を第一にして軌道修正したことで、「家族が協力的になってきました。今では、私がセミナーなどで家を空ける休日に、男3人で掃除、洗濯をして、釣ってきた魚で煮魚を作ってくれることも。だから私は『夫

が協力してくれない』という働く女性には、『焦らないで、時間をかけて』と言いたい」。もう一つ変わったのは、経済力を持ったことで「二人でも生きていける自信を持ったこと」だそうです。

これから起業したい人へのアドバイスを聞きました。「昔は起業という『社長になる』というイケイケなイメージでしたが、今は『少しでも仕事をつくる』という意味がある。注意点はまずリスクを抑えること。お金をかけずシェアオフィス、自宅、ネットをうまく利用する『ローリスク起業』がお勧めです。それから、家族を上手に巻き込むこと。たとえ仕事があまくいったとしても家庭が崩壊したらどうでしょうか。子育てと両立するやり方を探して欲しいです。専業主婦が起業する利点は、稼ぐことを期待されないこと。そのメリットを生かして、ゆつくり事業を膨らませていって欲しいです」。

